

超 我 の 奉 仕  
SERVICE ABOVE SELF

# IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 〒567-0881  
 例会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大阪 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL (072) 620-2121  
 会長/秋山 勤 幹事/松尾康弘 会報委員長/橋谷建郎 委員/野田 倉内  
 姉妹クラブ: 台北 西北区 扶輪社  
 双子クラブ: インドネシア・チネレRC・ジョグジャカルタRC

No.27 平成18年 2月 8日

本日の卓話  
2月8日(水)  
「大阪を元気にするスポーツイベント」  
平成18年度全国高校総合体育大会  
準備推進委員長 比嘉 悟氏

## 例会記録

第2269回例会 2月1日(水)雨  
 国歌「君が代」斉唱  
 ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱  
 ゲスト・スピーカーご紹介  
 若林紀男様(RI2660地区パストガバナー)  
 ビジターご紹介  
 多田節子様((株)タアテクノロジー代表取締役)  
 明石芳久様(摂津水都信用金庫烏飼支店長)  
 2月会員誕生 橋本(秀)、坂井  
 2月結婚記念 笠原、山道  
 2月入会記念 簡、黒田

## 会長の時間

秋山 勤会長

若林 PG お忙しい中、無理をお願いして卓話に来ていただきました。有難うございます。

よろしくご指導をお願いします。

多田様、明石様ようこそお越しくございました。

2月は、世界理解月間に指定されています。1905年2月23日シカゴでポール・P・ハリス等4人が、初めて会合を開いた日、いわばロータリーの創立記念日に由来するものです。

RCは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意

## 2月の行事予定表

|    |    |                                   |
|----|----|-----------------------------------|
| 23 | RI | 世界理解月間<br>ロータリー創立記念日<br>世界理解と平和の日 |
|----|----|-----------------------------------|

## 出席報告

| 第2269回例会 |    |    | 前々回(第2267回) |    |        |
|----------|----|----|-------------|----|--------|
| 会員数(免除)  | 出席 | 欠席 | 出席率         | 欠席 | 補正出席率  |
| 31(8)    | 17 | 6  | 73.91%      | 4  | 82.61% |



例会体験(多田節子様)

を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されています。

また、この創立記念日は、世界理解と平和の日と定められています。そして、2月23日に始まる一週間を、「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することになっています。

また、今週は、ポール・ハリスの祥月命日1月27日に始まる一週間(~2月2日)ということで、遺徳を偲び、奉仕の誓いを新たにする追悼記念週間でもあります。

ポール・ハリスは、1868年(明治元年)4月19日ミシ

ガン湖畔の町ラシーという所で生まれました。父ジョージが派手好きだったので、祖父の援助で開業していたドラッグストアは倒産し、3歳の時一家は離散しました。

その後、父方の祖父の家に預けられ、厳格でありながらも愛情に満ちた祖父母の下で育てられました。そして、誠実、質素、寛容、無私の精神を身に付けて成長してゆきました。この少年時代の体験が、ロータリーの理念の下敷きになっています。

ポールは常に寛容について言及しています。ロータリーの組織が発展して行く中で最も強調したかった気持ちを表しています。

ポールは1957(昭和22年)年1月27日享年79歳で天国に召されました。

The Rotarian 誌1947年2月号にポールの最後の言葉が掲載されています。

「1905年には、ロータリー運動がこんなに世界的な規模に成ろうとは予想だにできなかった。一本のか弱い苗木を植えたからといって、その木が必ずや力強い大木になると誰が確信できたであろうか。しかし最初の蕾を目にしたとき、初めて私は大きな木陰を夢見るようになった。」

世界的規模の組織を作った創設者であるが、実に素朴な生活で終始し、素朴な人柄であったと伝えられています。

このロータリーの創設者に感謝するとともに、これから先の歴史は我々の責任であることを自覚して、「Service above self」の精神を堅持しつつ、奉仕活動に邁進しようではありませんか。

## 幹事報告

松尾康弘幹事

- 1、RI及び2660地区連絡事項
  - 1) 米山奨学寄付金状況と「ハイソよねやま71号」
  - 2) 第2回国際親善奨学生オリエーション並びにPSC主催懇親会の案内  
3/4(土) 於: JT 生命誌研究館(高槻)  
PSC: 西武高槻・桃谷楼
  - 3) 「RI 広報賞」の申請について 締切: 3/31
  - 4) 東大阪みどり RC より冊子 要約・邦文定款第4条への疑問 2部  
(2年前から定款第4条の英文と邦文との対比検討を始め、検討委員会を設置し進めてきた)
  - 5) R-列の友1月号推奨記事と関連事項の紹介
  - 6) 次年度IM開催決定のお知らせ  
2007年4月28日(土) 於: 阪急伊弉諾パルク

ホスト: 吹田江坂 RC

- 7) R 財団 2004 - 05 年度年次報告
- 8) 2660 地区の 100 周年記念事業実施状況報告書
- 9) ザ・ロータリアン 2 月号

## 2、茨木市、他 RC よりの依頼事項

- 1) 台北西北 RC より会報
- 2) 北摂 12RC 幹事会報告 (ホスト吹田西)

## 3、第 8 回理事会報告・新旧合同(2月1日開催)

- 1) 秋山会長挨拶
- 2) 3 月度プログラムの件 承認
- 3) 次年度組織構成表(案)の件 承認
- 4) 観桜会の件 承認  
4/1(土)か4/8(土)の日帰りで日程・場所を調整する。戸川会員に協力をお願いする。
- 5) その他  
茨木 R A C の活動内容について 協議  
その他当面の諸問題について

## 6) 長澤直前会長講評

「大森会員は以前、地区の青少年問題担当のバスターガバナーでいらっしゃいましたが、地区では現在、顧問バスターガバナーの制度がなくなっています。例えば仮に、ガバナーに直接質問したいことや、解決してほしい問題があっても『まず、ガバナー補佐を通して・・・』ということになり、ガバナーまで話が通りにくい、ということが気になります。」

## 委員会報告

### 規定情報委員会

長澤利治委員長

「情報集会の案内」

日時: 2月8日(水)午後6時30分~9時  
場所: ホテル日航茨木大阪「桃李」

出席対象者にはご案内しておりますが、よろしくをお願いします。今後2回予定しております。

### 社会奉仕委員会

野田征夫委員長

「ユネスコ・世界寺子屋運動」の協力依頼  
年賀状等書き損じハガキ回収を3月末まで受付けておりますのでご協力をお願いします。

### 国際奉仕委員会

笠原隆之助委員長

茨木 RC、高槻 RC、ジョグジャカルタ RC の3つのクラブで「三ツ口治療支援」のマッチング・グラントを申請していただきましたのが、認可されましたのでご報告します。

## 卓 話

### 「国際奉仕について」

RI 第 2660 地区

若林紀男パストガバナー



ロータリーに於ける国際奉仕の始まりは、1911～1913年にかけて、カナダ、英国およびアイルランドにクラブが結成され、組織名称が「国際ロータリークラブ連合会」に改称された時に遡ります。以来、様々なプログラムが誕生し実行されて来ました。

今日、RIの目指す方向は「世界理解と平和」であり、世界に存在する難儀の多くは貧困に起因し、貧困解決なくして世界平和は訪れないという理由から、国際奉仕に於いても大きな資金を基にワールドワイドな見地に立って、国連やユニセフと手を携え、人道問題という定義で貧困解決の為に多くのプログラムに取り組んでいます。特にポリオ撲滅には、25年の歳月と大きな善意（ポリオ募金 6億ドル）を傾けて参りました。ポリオの次は地雷、エイズ……とささやかれています。

しかしながら、ロータリーの奉仕の本質は、ロータリアン個人々の間にあるものであり、これは国際奉仕に於いても同じで、集団的な国際奉仕活動を行うものではないのです。あくまでも、国際奉仕の基本は個人のロータリアンの繋がりにあります。ロータリーがその誕生のきっかけと大きな影響を与えたユネスコの憲章前文には『戦争は人々の心の中で始まるのだと考えれば、平和を守る砦が築かれるのも人の心の中である。』と書かれており、この平和理念はロータリーに共通する理念でもあります。世界平和を守る砦は、世界のロータリアンが手を携えることによって築かれるのです。

手を携える為には、まずお互いが知り合うことが大切です。例えば、国際大会に参加するのも良いでしょうし、外国旅行の際にクラブ訪問をして知人を増やし、来訪者には温かい友情を示し、姉妹クラブ

の提携により、相互理解を深めるなど、これら個人外交、クラブ外交が国際奉仕の原点であります。私が見誤ってはいけないと思うのは、国際奉仕の真の目的は、個々のロータリアンが出来る世界平和実現に通じる地道な奉仕活動であるということです。

ロータリーは1世紀をかけて、世界168か国、会員120万人超の団体に発展しました。大きな組織となり、新たな1世紀に踏み出した今こそ、これからの国際奉仕はどうあるべきか、会員おひとり々が考え取り組んで頂きたいと思うのです。

## ニコニコ箱

結婚記念

山道

本日卓話者としてお招き頂き感謝申し上げます  
又茨木 RC の皆様と再会出来嬉しく思っております

若林 P.G

若林 PG より卓話御礼もニコニコに頂きました  
若林 PG 有難うございました 多田様いかがでしたか よろしくお祈りします

秋山

あつという間の14年間でした

簡

若林 PG 卓話有難うございました

簡、久保、長澤、辰巳

若林 PG をお迎えして

笠原

若林 PG 「国際奉仕について」卓話ありがとうございました 多田様の入会お待ちしております

中西

智弁和歌山センバツ出場祝

大森

忘年家族会の写真を頂いて

橋本(陽)、掛谷

久保、長澤、中西、大森、坂井、辰巳、戸川

本日計 64,000円

累計 1,354,046円

## 次回卓話

「ロータリー創立記念日」

橋本秀雄会員

